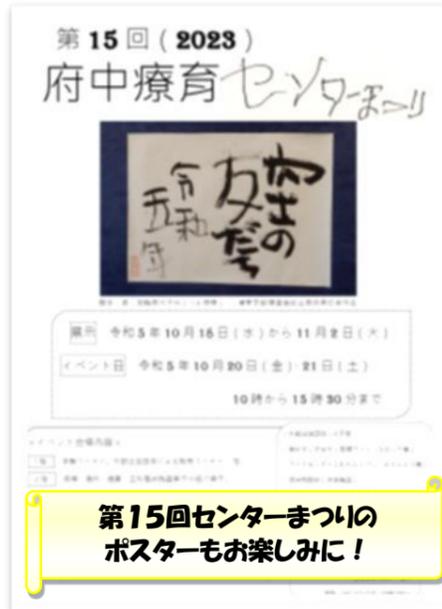


## 第15回府中療育センター祭～予告編～

府中療育センター祭実行委員会事務局



今年も8月に実行委員会が発足し、準備を進めている府中療育センター祭が近づいてきました。令和5年度のイベント日は10月20・21日(金・土)、展示期間は10月18日(水)から11月2日(火)です!

今回は予告編ということで、少しでもイベントの内容をお知らせします。コーナーは例年どおり「制作・感覚刺激」「ゲーム」「芸能」「食べ物」の4つ。そして、今年も地域の障害者施設等の方々に、お店(「外部出店」)を出していただける予定です。

ではまず1階の会場をご紹介します。今年は理学療法室で「食べ物」と「外部出店」、作業療法室で「感覚刺激」の3つの企画を実施します。「食べ物」コーナーは利用者の方を主な対象としますが、「外部出店」では、パンや総菜といった食べ物や、さまざまな製品の販売が

行われる予定です、いろいろな方に興味を持っていただけることでしょう。旧センターで大人気だったあのお店も復活予定です♪(ただし、会場内での飲食は出来ませんので、ご了承ください。)そして、毎年趣向を凝らした様々な体験ができる「感覚刺激」コーナーは、作業療法室で実施しますので忘れずにお立ち寄りください!

2階ではまず、ラウンジこかげから多目的ホールに続く廊下の壁面が、各部署の作品展示や紹介展示で彩られます。室内は、生活療育支援科活動室の2つが「ゲーム」コーナーとなり、今年も楽しいゲームを用意してお待ちしています。そして最後は、多目的ホールの「芸能」コーナーです。今年の外部団体の公演は「ネコヤナギ楽団」と「音種♪」さん…皆さん覚えておいででしょうか?センター50周年記念の歌「にこにこのたねたち」を作曲してくださった方たちです。きっと色々な楽器や歌で楽しませていただけることでしょう!また、舞台発表やDVD発表はもちろん、久しぶりにボランティア表彰も行なわれますので、ボランティアさんに日頃の感謝の気持ちをお伝えしたいですね。

ほかにも、当日までに皆で作上げる全体制作(鋭意制作中)の完成品展示、「人生の節目を祝う会」、芸能コーナーの病棟訪問、有志によるブース企画と、いくつものイベントを計画しています。今年度は、いよいよご家族や一部の外来の方にもご参加いただけることとなりました。とは言え、感染対策のため一堂に会して盛り上がるというわけにはいきませんが、皆様と心を合わせて楽しいお祭りしていきたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます!

〒183-8553  
東京都府中市武蔵台2-9-2  
東京都立府中療育センター  
電話 042(323)5115  
FAX 042(322)6207

\*-\*-\*ホームページもご覧ください\*-\*-\*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

# ひだまり

都立府中療育センター新聞 第549号 発行日 令和5年9月30日

## 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会・学術大会 参加報告

歯科・摂食嚥下ワーキンググループ 大房 航

「食べるを支える」学会である日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会が9月2日～3日にパシフィコ横浜ノースで行われました。大会テーマは「摂食嚥下リハビリテーションと多様性」です。参加者は約6千人と大盛況で、「食べる」に関わる様々な職種の方々が摂食嚥下障害に立ち向かうべく活発な議論を行っていました。今大会は、摂食嚥下障害をもつご本人やご家族なども演者として登壇され、まさに多様性というテーマにふさわしい内容でありました。

さて、今回の学会中で、動物の進化と摂食嚥下をテーマにした特別講演が興味深かったため、少しご紹介します。「咀嚼器と運動器に着目した人体の進化史的な理解」と題して、獣医学者の遠藤秀紀氏がご講演されました。講演では、形態学的観点から、ヒトという動物の特殊性についてほかの哺乳類の進化と比較しながら示され、ヒトの特殊性を進化史から読み解くことで食べる機能の新たな理解につながる(かも?)というユニークなお話を拝聴しました。

ヒトは直立二足歩行をすることが災いして、実は誤嚥(ムセる)しやすい動物です。のどが広く、構造的に食べ物の通り道と空気の通り道が交錯しているためです。例えば、犬猫では別々に立体交差しているため、誤嚥しにくい構造となっています。へびに至っては大きな獲物を丸飲みするような生活のため、呼吸器に窒息しないような工夫がなされています。肉食動物のホッキョクグマは獲物を捕らえる牙(犬歯)、肉を噛み切る顎の動きと歯の形が発達し、草食動物であるキリンでは植物をすりつぶす顎の動きと歯の形、効率よく消化吸収するための長い消化管が発達しています。このように、すべての動物は生きるために環境に適応し、「特殊」に進化していくわけです。最近では、日本人の親知らず

(智歯)は正しく生えず、顎の形もかなり細身に変わってきました。これも食生活の変化による進化(?)であると考えられます。

ヒトの摂食嚥下機能もそのような進化の中で生まれたもののひとつ。なぜこうなったのか?祖先はどうであったのか?その変化に至る理由は何であったのか?、答えはありませんが、摂食行動の本質的な理解を深めるためにはとても大切な思考であると感じました。

ヒトは誤嚥しやすい動物ですが、知能も発達した動物です。その知能を駆使して、摂食嚥下障害を乗り越えられる唯一の動物とも言えます。摂食嚥下障害を乗り越える“進化”が訪れるよう、日々研鑽を積んでいきたいと思っております。



## バスハイク

1 A病棟 藤野高子



8月17日、西国分寺マインへ買い物に出かけました。台風一過の晴天で外は猛烈な暑さ、でも店内はとても涼しく、快適に買い物を楽しむことができました。好みの洋服やお菓子を選ぶ時の真剣な表情、そして美肌を更に美しく磨く為にボディークリーム等を購入し、限られた時間の中で持ちきれないほどの品数に満足！！

買い物が終わり、お花屋さんの前で一休みして、記念写真をパチリ★

冷やし中華…ではなくて「すずむしはじめました」と

の貼紙を発見。耳を澄ますと「り～んり～ん♪♪♪」と鈴虫の鳴き声が聴こえてきました。外はうだるような暑さなのに、秋がそこまで来ているんだな～と季節を感じ、鈴虫の声に癒されたひと時でした。

帰りのバスの中では、笑顔あり眠そうな顔あり。1 Aの弾丸買い物ツアーは無事に終了しました。



## 秋のお楽しみ会

2 B病棟 福祉職



2 B病棟では、9月6日に招待観劇会で「からふる・ぼけつと」のクラウンじっきいさんによるパフォーマンスを楽しみました。センターではお馴染みのじっきいさんですが、新センターに移転してから初パフォーマンスという事で、じっきいさんもセンターに来ることを楽しみにしてくれていたそうです。

久しぶりに皆の前に登場したじっきいさんに、利用者も職員もテンションがあがり大きな拍手とともに会がスタートしました。箱を使ったシガーボックスのパフォーマンスでは、入れ替わる箱の色を当てるクイズが出され、タイミング良く手を挙げ

たり悩んでいる様子の利用者との掛け合いに会場からは笑いが起こっていました。9月の誕生者にはバルーンアートで作ったクマやウサギがプレゼントされ、受け取った利用者からは満面の笑顔が見られていました。30分という短い時間でしたが、皿回しやクラブ、ディアボロといった道具を使って次々に披露されるパフォーマンスに大きな歓声や拍手が起こり、じっきいさんの軽快なトークに笑いが絶えず、大いに盛り上がり楽しい時間を過ごすことができました。



## 東京都交響楽団メンバーによるコンサート

生活療育支援科 小池泰子



8月30日午後、多目的ホールにて東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏のコンサートが開催されました。「音楽の贈りもの」というタイトルのこのコンサートは、公益財団法人メトロ文化財団の主催、東京メトロの協賛により実現しました。

できるだけたくさんの利用者の皆さんに御参加いただけるよう、2部交代制で行われました。プログラムは、モーツァルトをはじめとするクラシックから映画「千と千尋の神隠し」の「いのちの名前」などジブリの曲までバラエティに富んだ構成でした。1部は通園児が参加し、「小さな世界」や「となりのトトロ」なども演奏されました。曲によって弦の響きを同じ楽器とは思えない表情豊かな音色で演奏されていて、皆がうっとりとして聴きほれました。楽しかったのは日本民謡「八木節」でした。演奏者が、弦を演奏しながら合間に舞台を足で鳴らして合いの手が入り、観客も拍手でリズムをとりながら一緒に参加しました。頭や手をユラユラ揺らし、足でリズムをとり、拍手し、と利用者の方それぞれの表現で、本格的な演奏を楽しんでいる姿が印象的でした。

「音楽の贈りもの」の開催は新型コロナ流行以来久しぶりであると主催の方に伺いました。当センターで開催でき、東京都交響楽団の皆さんの素晴らしい音楽を聴かせていただけたことに感謝です。



## お楽しみ会

2 D病棟 福祉職



9月6日（水）お楽しみ会で映画会を開催しました。「アンダー・ザ・シー～ぼくたち海底王国パトロール隊～」を観賞しました。

カラフルなキャラクターの魚や、コミカルな動きの生き物が登場し、ストーリーが進んでいきました。大画面にキャラクターがアップになると、それまで違う方向を向いていた利用者も映像に視線を向ける様子がみられました。

また、キャラクターのコミカルな動きに、利用者は笑顔を見せていました。時間の都合上、最後まで鑑賞することはできませんでしたが、次回のお楽しみにしたいと思います。

